

「動く」アセント絵本の制作

栗田真紗子^① 横山美恵子^② 増原直子^② 米子真記^③ 永瀬七奈子^③
小嶋純^③ 花崎哲^① 高橋美知子^① 三角芳子^①

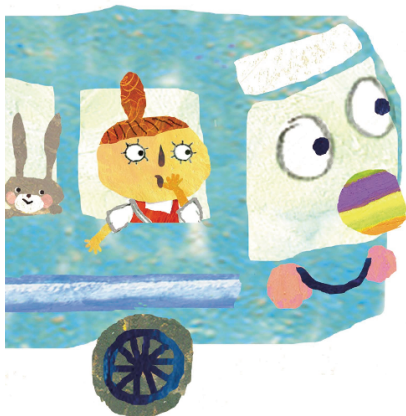
①株式会社桜映画社 ②聖マリアンナ医科大学病院 治験管理室
③独立行政法人 国立成育医療研究センター

「動く」アセント絵本の制作 シートくんと ちけんちゃん



小さい子どもに治験について
わかりやすく説明したいんだけど
どうしたらいいですか？

そこで、子どもが治験コーディネーターや
おかあさん、おとうさんと一緒にみられる
2つのアセント補助資料をつくりました



iPadでみる
「動く」絵本
(iBooks)



●病院での説明に用いる
iPadを使った
「動く」絵本iBooks



絵本



●患者に渡して
家で見てもらうための絵本



「動く」絵本はさわると
動画が再生されたり、
音がでたりするよ



小さい子どもが
あきないで
何度もくりかえし
みたくるように
絵やおはなし、
動くしかけを工夫したよ



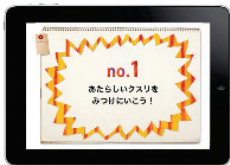


治験とその流れについて
理解しやすいよう
大きく4つの構成にして、
他の治験でも
つかえるようにしたよ

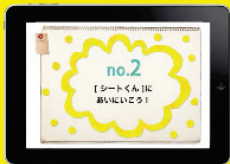
医師主導治験
「先天性巨大色素性母斑患者を対象とした
自家培養表皮の臨床試験」について
せつめいします



イントロダクション
ちけん星のちけんちゃんのおはなし
(治験全体に関する内容)



はじめに
ちけんちゃんがおともだちの
病気をなおす新しいクスリや
道具をさがしにいけます



〇〇にあいにいこう!
ここが今回の治験のおはなしです
(今回は、「シートくん」にあいにいこう)
ちがう治験につかうときは、
ここのおはなしをつくりかえます



さいごに
気になることや
心配なことがあったら…
というおはなしをします

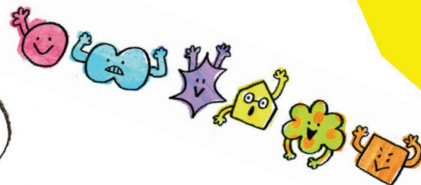
再生医療について子どもたちに
わかってもらうために、
「自分の体のもっている
ちから(さいぼう)で治すんだよ」
とせつめいを工夫したよ



iPadと
絵本を
みてみてね

シール

絵本には
シールの
おまげが
あります!



表現について

手描きの切り絵を「ストップモーションアニメーション」の技法(素材を1コマずつ撮影していく技法)を用いすべて
手作業で動かして撮影。
CGではできない、動きのコミカルさやあたたかさが特徴です。
制作を担当したアニメーション・絵本作家のミスミシコさんは、紙、砂、布、糸、セロファン、織り、粘土、フェルト、
クレヨン、ペンなど様々な素材や動きでみている人の感覚に呼びかける作品をつくっています。
代表作: NHK「プチプチアニメ」(「王さまものがたり」シリーズ)、「みんなのうた」(「きみのきもち」)、「おかあ
さんといっしょ」(「まほうのとびら」)など



この教材の一部は、治験推進事業の研究費を受け実施した以下の研究の一環として、作製しました。
治験機器 ヒト自家移植組織
対象疾患 先天性巨大色素性母斑

指導・監修……小嶋純 永瀨七奈子 横山美恵子 増原直子 米子真記

演出……ミスミシコ/高橋美知子 アニメーション・声……ミスミシコ
脚本……高橋美知子 音楽……広田圭美
ナレーション……栗田ひづる iBooks編集……花崎陽
録音……東京テレビセンター 製作……栗田真紗子/花崎哲

©Yoshiko Maumi / Sakura Motion Picture Co., Ltd.

●アセント補助資料「動く」絵本iBooks・紙の絵本についてのお問い合わせは

桜映画社 Tel:03-3478-6110 E-mail: m-kurita@sakuraeiga.com まで
(担当:栗田 070-6553-6564)